



『美女と野獣』1874年 個人蔵

WALTER CRANE

絵本はここから始まった

ウォルター・クレインの本の仕事

会期:2017年4月5日(水)~5月28日(日)

開館時間:10:00~18:00(金・土曜日は20:00まで)※入場受付は閉館の30分前まで

休館日:5月1日[月]

観覧料:一般 1,200円(960円)、大学生 700円(560円)

*小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

*()内は前売券・団体20名以上、および市内在住65歳以上の方の料金

*前売券は、千葉市美術館ミュージアムショップ[3月24日まで]、ローソンチケット[Lコード:33656]、

セブンイレブン[セブンチケット]、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口[5月28日まで]にて販売。

主催:千葉市美術館/後援:一般社団法人日英協会/企画協力:マンゴスティン

はじめまして、ヴィクトリア時代に花開いた美しく緻密な絵本たち

展覧会概要

ウォルター・クレイン(Walter Crane 1845-1915)は、19世紀後半にイギリスで活躍し、現代の絵本の基礎を築いた重要な画家の一人であり、また、ウィリアム・モリスとともにアーツ・アンド・クラフツ運動を推進したデザイナーとしても知られています。

1845年、画家の息子としてリヴァプールに生まれたクレインは、木口木版の工房に入りデッサンの基礎を学びます。その後、多色刷木口木版の技術を開発した彫版師・刷師のエドマンド・エヴァンズに才能を見いだされ、二人は1865年に全ページカラー刷りのトイ・ブック(簡易なつくりの絵本)を生み出します。その後、彼らが次々と世に送り出した絵本は高い評価を得て、クレインは子どもの本の画家として一躍有名になります。見開きページ全体の調和を重視したクレインは、絵本そのものの設計に目を向けた最初の画家・デザイナーといえるでしょう。一方で、当時の日本の浮世絵から学んだことも指摘されています。

1877年以降、クレインはトイ・ブックの仕事から離れますが、生涯にわたって挿絵の分野で数々の傑作を生み出します。その一方で、壁紙、テキスタイル、室内装飾などのデザイナーとして、教育者、画家、熱心な社会主義者として多方面で活躍しました。

本展は、本の仕事を中心にクレインの芸術を本格的に紹介する日本で初めての展覧会であり、ほぼすべての絵本と主要な挿絵本を網羅する約140点を展覧します。またクレインとともに絵本の黄金時代を築いた画家ケイト・グリーナウェイとランドルフ・コールデコットの作品約40点もあわせてご覧いただけます。

※会期中、一部展示替えを行います。

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8

Tel. 043-221-2311(代) <http://www.ccma-net.jp>

みどころ

・カラー絵本を生み出したクレイン、日本初の個展

ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ運動を進めた画家としても注目されるウォルター・クレイン。もともとクレインは本の仕事から出発しましたが、これまで日本ではモリスとともに活動したデザイナーとしての紹介がほとんどでした。絵と言葉が一体となり一冊の本として完成する絵本を意識して作ったのは、クレインが最初といわれています。手掛けたほぼすべてのトイ・ブックと代表的な絵本が展示され、本格的にクレインを紹介するのは本展が日本初となります。

・あの『シンデレラ』『美女と野獣』『眠り姫』も…

現在でもディズニー映画や実写などで人気の高い『シンデレラ』、『美女と野獣』、『眠り姫』をはじめ、『長靴をはいた猫』やマザーグースの歌をもとにした『赤頭巾ちゃん』など、さまざまな童話をもとにウォルター・クレインは装飾的で緻密な絵本を作り上げてきました。まさにここから現代へと続く絵本がはじまったのです。

・浮世絵からの影響

クレインのトイ・ブック・シリーズでは、強い輪郭線や平面的な色の塗り方といった描法や色彩としての黒の活用、大胆な対角線を使う構図など、浮世絵から影響を受けたと思わしき挿絵がみられます。クレインは早い段階で浮世絵を目にする機会があったとされ、室内装飾にジャポニズムを取り入れることが流行した1870年代に、新しい表現としても注目されました。

■ ウォルター・クレイン略年表

1845年	8月15日 イギリス・リヴァプールに生まれる。	1884年	アート・ワーカーズ・ギルド結成、創立メンバーとして加わる。
1859年	W.J.リントンの木口木版工房で修行する(～3年間)。	1888年	アーツ・アンド・クラフツ展覧会協会の初代会長となり、第1回展が開催される。
1863年頃	彫版師・刷師のエドモンド・エヴァンズと出会う	1889年	花の擬人化を主題にした『フローラの饗宴』を出版。以降、手がけた「フラワーシリーズ」が大人気となる。
1865年	エヴァンズと組み、トイ・ブックの挿絵を描きはじめる。(～1876年)	1892年	デザイン理論書『装飾芸術の主張』を出版。
1871年	ウィリアム・モリス、バーン＝ジョーンズらと知り合う。	1915年	3月14日 死去
1877年	『幼子のオペラ』(マザーグース歌曲集)が人気を博す。		

記者レクチャー

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。スライドレクチャーにて作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

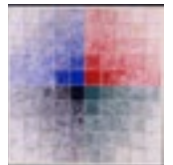
4月4日(火)／15:00より(1時間程度)／10階会議室にて(その後、8・7階展示室へご案内いたします)

参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

同時開催

所蔵作品展「色で楽しむ現代美術」

百瀬寿《NE.Blue, Red, Green and Black》
1990年 千葉市美術館蔵



次回展予告

「歿後60年 椿貞雄 師・劉生、そして家族とともに」

6月7日(水)～7月30日(日)

椿貞雄《自画像》
大正4年(1915)頃 千葉県立美術館蔵



関連企画

講演会

「ウォルター・クレインの絵本 ～ヴィクトリア時代に現代の絵本の源流をたどる」

5月5日(金・祝)

14:00より(13:30開場予定)／11階講堂にて／定員150名

聴講無料

講師：正置友子(絵本学研究所主宰)

*当日12:00より11階にて整理券配布



『シンデレラ』1873年 鶴見大学図書館蔵

ワークショップ

「花の庭～美術館で妖精をみつけよう～」

(事前申込制)

4月29日(土・祝)

13:30～15:30／11階講堂にて

小学生対象(1年生～6年生)／定員15名

参加費300円

春の庭に種をまいたらどんなお花が咲くかな。

そのお花にはどんな妖精が隠れていそう？

想像を膨らませながら、色と形で遊びます。

《申込方法》

往復はがきまたはホームページからお申し込みください。

往復はがきの場合は、郵便番号・住所・電話番号・氏名・年齢・参加希望のイベント名・参加人数(2名まで)・当日連絡可能な連絡先を明記の上、〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館イベント係 まで。

*4月19日(水)必着

*お申込みは1通につき1イベント。

*応募多数の場合は抽選。

市民美術講座

「ウォルター・クレイン入門」

4月22日(土)

14:00より(13:30開場予定)／11階講堂にて

先着150名／聴講無料

講師：山根佳奈(当館学芸員)

ギャラリートーク

正置友子氏による:4月15日(土)14:00～

担当学芸員による:4月5日(水)14:00～

ボランティアスタッフによる:

会期中の毎週水曜日14:00～(4月5日をのぞく)

*水曜日以外の平日にも開催することがあります。

*混雑時には中止する場合があります。

◆イベントの追加、変更につきましてはホームページをご確認ください

交通案内

◎ JR 千葉駅東口より

・徒歩約15分

・バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分

・千葉都市モノレール県庁前方面行「よしかわ葭川公園駅」下車徒歩約5分

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

◎千葉市中央区役所と同じ建物です

◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください



「絵本はここから始まったーウォルター・クレインの本の仕事」

広報用画像一覧

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介くださいますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。



1. ウォルター・クレイン『シンデレラ』1873年 鶴見大学図書館蔵



2. ウォルター・クレイン『美女と野獣』1874年 個人蔵



3. ウォルター・クレイン『眠り姫』1876年 個人蔵



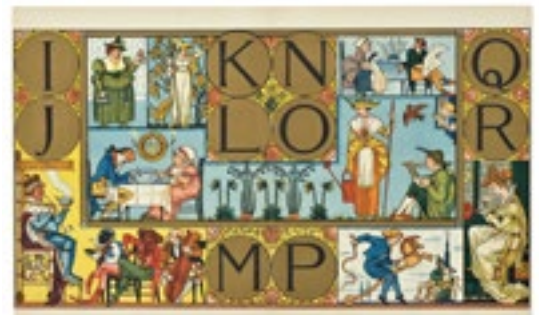
4. ウォルター・クレイン『フローラの饗宴』1889年 個人蔵



5. ウォルター・クレイン
『妖精の船』1870年 個人蔵



6. ウォルター・クレイン
『長靴をはいた猫』1874年 個人蔵



7. ウォルター・クレイン『古いお友だちのアルファベット』
1874年 個人蔵

「絵本はここから始まったーウォルター・クレインの本の仕事」
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館
広報担当 行
FAX：043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>（おおよそで結構です 例：5cm 四方、など）</small> ：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

- 1.ウォルター・クレイン『シンデレラ』1873年 鶴見大学図書館蔵
- 2.ウォルター・クレイン『美女と野獣』1874年 個人蔵
- 3.ウォルター・クレイン『眠り姫』1876年 個人蔵
- 4.ウォルター・クレイン『フローラの饗宴』1889年 個人蔵
- 5.ウォルター・クレイン『妖精の船』1870年 個人蔵
- 6.ウォルター・クレイン『長靴をはいた猫』1874年 個人蔵
- 7.ウォルター・クレイン『古いお友だちのアルファベット』1874年 個人蔵

■ プレゼント用招待券申込
（ご希望の場合はチェックをつけてください）

5 組 10 名様分 希望します。

（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先
ご住所：〒

問い合わせ先
千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel. 043-221-2311(代表) / 043-221-2313 (直通)
Fax. 043-221-2316
HP. <http://www.ccma-net.jp/>

広報担当：磯野 愛